

薬の飲み方

◆粉薬の場合

通常、粉薬は水と一緒に飲みますが、小さなお子さまの場合、粉薬の味や ざらつきを嫌がり、飲めないことがあります。お子さまが粉薬を初めて飲む 場合や、飲むのを嫌がる場合の飲ませ方の工夫をご紹介します。

ただし、お薬を水や飲食物に混ぜる場合、混ぜてから時間が経つとお薬の成分が変化してしまうことがあるため、お薬は飲ませる直前に 1 回分だけを 混ぜるようにし、作り置きはしないでください。

～乳児（1ヶ月～1歳未満）にお勧め～

● その1

小さな容器の中に粉薬をあげ、数滴の水を加えて、ペースト状に練ります。手をきれいに洗って、練ったお薬を指先につけ、口の中に塗りつけます。舌の上に塗ると苦味を感じるため避けるとよいでしょう。そのあとはお薬が口の中に残らないように、飲み物を飲ませます。



舌の上は避けて
頬の内側や上あごに
塗りつける

● その2

小さな容器の中に粉薬をあげ、少しずつ水を加えて、シロップ状（液体）にします。溶かしたお薬をスプーンやスポイト、哺乳瓶の乳首*を使って飲ませます（8ページ③を参考にしてください）。そのあとはお薬が口の中に残らないように、飲み物を飲ませます。

ワンポイントアドバイス

* 哺乳瓶の乳首を使う場合、穴が狭く、お薬が十分に出ないことがあります。薬用の乳首（穴を少し大きく開けたもの）を用意しておくのがお勧めです。



穴を開けておく

～幼児（1～5歳）にお勧め～

この時期のお子さまが好むお薬の飲み方には個人差があるため、次に記した中からお子さまに合った方法を選ぶのがよいでしょう。

● その1

粉薬に水を少量（5mLから始めて20mL位まで）加えて溶かし、飲ませます。そのあとはお薬が口の中に残らないように、飲み物を飲ませます。

● その2

1回分のお薬の入った袋の口を切り、袋の中にスプーンで極少量（スプーン1杯以下）の水を入れます。手早くかき混ぜて、そのスプーンでお子さまの口のやや奥にお薬を入れます。そのあとはお薬が口の中に残らないように、飲み物を飲ませます。



● その3

次のようなものを使うことで、お薬のにおいや苦味を感じにくくすることができ、飲みやすくなります。

○ オブラート

口の中にくっつきやすいため、オブラートの外側を水でぬらし、とろみを出して飲ませるとよいです。

袋型やフルーツ味のオブラートなど様々なタイプがあります。

○ 服薬補助ゼリー

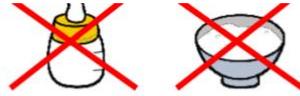
ゼリーにお薬を混ぜるのではなく、ゼリーの上にお薬をおき、さらにその上をゼリーで包むようにして飲ませます。

● その4

そのまま水で飲めない場合は、粉薬に好みの食べ物を少量（スプーン1～2杯位）加えて食べさせます。そのあとはお薬が口の中に残らないように、飲み物を飲ませます。

均一に混ぜるよりも、粉薬をはさむようにして食べさせるとよいようです。混ぜるとお薬が飲みやすくなる飲食物については、右のページを参考にしてみてください。

混ぜてはいけない飲食物



ミルクやごはんは栄養源であるため、混ぜないでください。味が変わって飲み残したり、ミルク嫌い、ごはん嫌いになったりするおそれがあります。また、炭酸飲料やスポーツドリンク、果汁の多いジュースなどは、お薬の吸収や効果に影響を与えてしまうので、混ぜないでください。

1歳未満の乳児には乳児ポツリヌス症を発症する危険性があることから、はちみつは与えないようにしてください。

混ぜると飲みやすくなる飲食物

味や香りが強いものはお薬の味を感じさせることなく飲ませることができます。

例) ヨーグルト、アイスクリーム*、ジャム、プリン、ジュース、
チョコレートクリーム、コンデンスミルクなど

*アイスクリームは、舌を冷やし、一時的に神経を麻痺させて、味を感じにくくします。



お薬によっては飲食物を混ぜると逆に苦味が増して飲みにくくなったり、お薬の効果が弱くなったりするものもあります。ご紹介したものは一例ですので、お薬ごとの飲み合わせについて気になる場合は薬剤師に相談してください。

★漢方薬について

漢方薬は本来お湯で煎じるものが多く、お湯や水に溶かして飲むのは問題ありません。

水では溶けにくい為、当院ではお湯で溶かしたり水と一緒にレンジ等で加熱して溶かして服用する事をお勧めしています。漢方薬は溶かしても成分が変化しないため、1日分をまとめて溶かしておいても大丈夫です。

上記にはアイスクリームでの服用法が記載してありますが、漢方薬に関しては吸収が悪くなってしまふ為、脂肪分の高い牛乳やアイスとの服用は避けて頂き、カルピス原液(※1)など甘いジュースやジャムなどを混ぜることで飲ませやすくすることをお勧めしております。(※2)

※カルピス原液は離乳食完了期(1歳ごろ)からの飲用が推奨されています。

※2抗生剤以外は全部飲みきれなくても、飲んだ分だけの効果が期待できます。飲めるときに飲めるだけでも良いので、工夫して飲ませてください。

引 用 <https://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/about/vt1bv7000000k21d-att/vt1bv7000000k242.pdf>